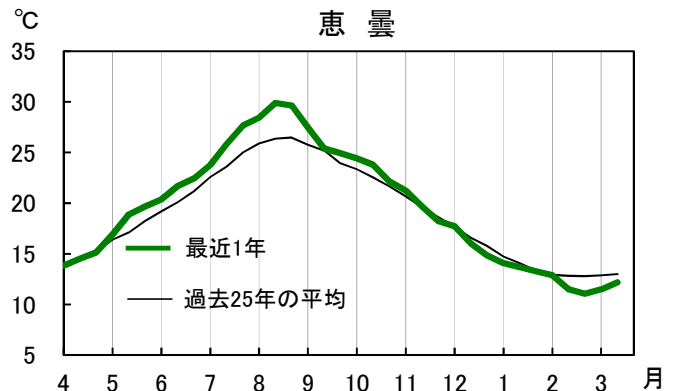
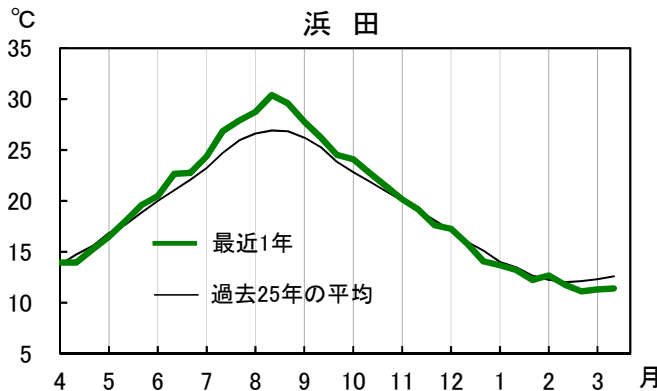




《2～3月の海況》

2月	月平均	平年差	評価
浜田	11.9℃	-0.2℃	平年並み
恵曇	11.8℃	-1.0℃	はなはだ低め

沿岸定地水温は、浜田地区では2月は上旬が「やや高め」でしたが、中旬に「平年並み」、下旬には「やや低め」となりました。3月に入り中旬時点で「かなり低め」で経過しています。一方、恵曇地区では2月は上旬が「平年並み」でしたが、中旬以降は低め傾向に転じ、3月中旬まで「かなり低め～はなはだ低め」で経過しています。



《2月の漁況》

【中型まき網漁業】

県西部（浜田地区）ではマアジ、サバ類主体の漁況で、1統1航海当りの漁獲量は平年を上回りました。主要魚種であるサバ類、マアジはそれぞれ平年の5倍、3倍となりました。県東部（西郷地区及び浦郷地区）ではサバ類、マアジ、ブリ主体の漁況で、1統1航海当りの漁獲量は西郷地区で平年を上回り、浦郷地区で平年並みとなりました。西郷地区ではサバ類が平年の4倍となり、浦郷地区でもサバ類、マアジがそれぞれ5倍、3倍、ブリが3倍と好調でした。しかし、浦郷地区は出漁日数が例年より多かったため、結果として平年並みとなりました。

【イカ釣漁業】

浜田地区（属地5トン以上）ではスルメイカ主体（全体のほぼ100%）の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は796kgで平年を下回りました。一方、西郷地区（属人5トン以上）ではスルメイカのみ（全体の100%）の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は420kgで平年を上回りました。

【沖合底びき網漁業】

浜田港ではマフグ、スルメイカ主体の漁況で、1統1航海当たり漁獲量は平年の8割の水揚げに留まりました。この時期、マフグ、ヒレグロの漁獲は増加しますが、マフグは平年並み、ヒレグロは平年の7割の水揚げとなりました。一方、ムシガレイ、ソウハチは低調であり、平年の6割の水揚げに留まりました。例年、2月は水揚げ量が減少する時期ですが、主要魚種の多くが平年を下回り、低調に推移しました。

【小型底びき網漁業】

和江地区はソウハチ主体、久手地区はソウハチ、ヒレグロ主体の漁況でした。1隻1航海当たりの漁獲量は両地区とも平年をやや下回りました。両地区とも、ソウハチ、ヒレグロ、アカガレイの3魚種で全体の6～7割を占め、平年並みから平年を上回る水揚げで推移しました。このほか、ニギスは平年の3割の水揚げに留まり、低調に推移しました。

【定置網漁業】

石見地区ではマアジ、サバ類主体の漁況で、1統当りではマアジが過去5年間で最大、例年漁獲されないマサバも好調であり、その他の魚種も概ね好調だったため全統の総漁獲量は平年を上回りました。出雲地区ではマアジ、サワラ類、サバ類主体の漁況で、1統当りではマアジ、サワラ類がそれぞれ平年の4倍、2倍だったものの、例年主体となるスルメイカが1割、サバ類も平年並みであったため全統の総漁獲量は平年並みとなりました。隠岐地区ではスルメイカ、マアジ主体の漁況で、1統当りではマアジが平年の2倍だったものの、スルメイカが5割であったため全統の総漁獲量は平年を下回りました。

【釣・縄】

出雲地区ではブリが主に漁獲され、1隻1航海当りの漁獲量は64kgで平年並みでした。石見地区ではサワラ類、メダイ、ブリが主に漁獲され、1隻1航海当りの漁獲量は30kgで平年並みでした。隠岐地区ではスルメイカ、ブリ、カサゴ・メバル類が主に漁獲され、1隻1航海当りの漁獲量は31kgで平年を下回りました。いずれの地区でも時化等により操業日数が平年の5割～6割であったため、総漁獲量も平年の5割程度となっています。

【平成 26 年 2 月の漁獲統計】

漁業種類	水揚港	主要魚種	総漁獲量			CPUE(1隻(統)1航海当り漁獲量)			漁模様
			漁獲量	前年比 %	平年比 %	漁獲量	前年比 %	平年比 %	
中型まき網	浜田	マアジ、サバ類	637トン	114%	196%	33.5トン	96%	135%	◎
	西郷	サバ類、マアジ、ブリ	3,685トン	78%	110%	72.2トン	86%	127%	◎
	浦郷	サバ類、マアジ、ブリ	2,026トン	110%	177%	43.1トン	89%	116%	○
イカ釣り (5トン以上)	浜田	スルメイカ	119トン	57%	89%	796kg	82%	72%	▲
	西郷	スルメイカ	0.4トン	17%	8%	420kg	190%	286%	◎
沖合 底びき網	浜田	マフグ、スルメイカ	220トン	76%	64%	10.5トン	84%	79%	▲
小型 底びき網	久手	ソウハチ、ヒレグロ	114トン	109%	79%	663kg	92%	94%	▲
	和江	ソウハチ	226トン	96%	87%	783kg	88%	93%	▲
定置網 (大型)	浜田	休漁							
	美保関	サワラ類、マアジ、スルメイカ	34トン	116%	42%	518kg	125%	55%	▲
	浦郷	スルメイカ、マアジ	23トン	53%	65%	1.0トン	58%	76%	▲
釣り・縄	仁摩	メダイ、サワラ類、カサゴ・メバル類	5トン	85%	26%	38kg	111%	66%	▲
	大社	ブリ、ヒラマサ	5トン	35%	15%	21kg	52%	31%	▲
	西郷	カサゴ・メバル類、メダイ	1トン	38%	17%	17kg	73%	50%	▲

平年比：過去5年（沖底のみ10年）の平均値との比較 漁模様（CPUE）：◎が平年以上、○が平年並み、▲が平年以下

本年の漁獲量が0Kg(ほぼ0Kg)のものは全てを－、前年の漁獲量が0Kg(ほぼ0Kg)のものは前年比を－、平年の漁獲量が0Kg(ほぼ0Kg)のものは平年比を－とした。

今月は「ケンサキイカ情報」はお休みです（5月号から再開する予定です）。